

2024年4月 改訂版

成田空港の明日をいっしょに



成田空港の更なる機能強化 滑走路整備計画の概要について

お問い合わせ

NAA 成田国際空港株式会社
NARITA AIRPORT

0570-000-955
(受付時間:平日9:00~17:00(12/29~1/3を除く))

下記ホームページでは成田空港の更なる機能強化の
詳細についてご覧いただけます。
www.narita-kinoukyouka.jp



NAA 成田国際空港株式会社
NARITA AIRPORT

改訂版の発行にあたって

成田空港の更なる機能強化については、2020年1月の航空法に基づく空港等変更許可後、整備計画の具体化に向けて各種調査を進め、2021年12月に滑走路整備計画に関するパンフレットを発行しました。

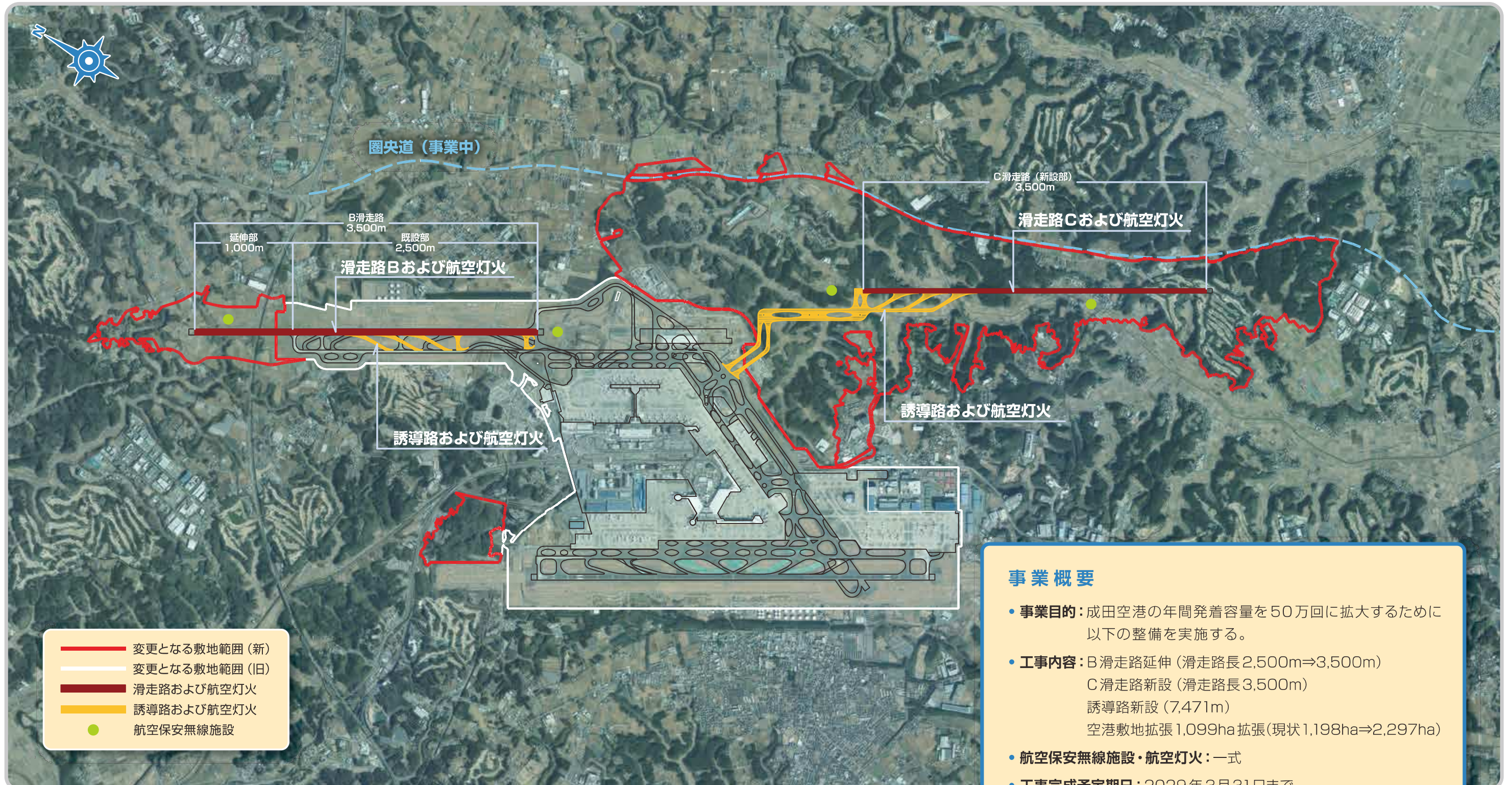
今般、関係者協議や設計等が進捗したことから、地域の皆様、関係者の皆様に滑走路整備計画のご理解を深めて頂けるよう改訂版を作成いたしました。

目次

更なる機能強化の滑走路工事計画の概要について	1
B滑走路延伸地区における全体工事計画図	3
B滑走路延伸地区における付替・補償道路の工事計画図	5
B滑走路延伸地区における成田市補償道路の工事計画図	7
B滑走路延伸地区における東関東自動車道地下道化の工事計画図	9
B滑走路延伸地区における雨水排水等の工事計画図	11
C滑走路新設地区における全体工事計画図	13
C滑走路新設地区における付替・補償道路等の工事計画図	15
C滑走路新設地区における付替・補償道路の工事計画図	17
C滑走路新設地区における雨水排水等の工事計画図	27
今後の工事の進め方 (B滑走路延伸整備)	29
今後の工事の進め方 (C滑走路新設整備)	31
環境保全計画	33
B滑走路地区、C滑走路地区の工事数量	35

更なる機能強化の 滑走路工事計画の概要について

NAAは、成田空港の年間発着容量を現状の30万回から50万回まで拡大することができるC滑走路の新設・B滑走路の延伸等といった「成田空港の更なる機能強化」について、2019年11月7日に航空法に基づく空港等変更許可申請を国土交通大臣に行い、2020年1月31日に許可をいただきました。新たに空港敷地となる範囲及び新たな滑走路等（C滑走路の新設、B滑走路の延伸、誘導路の新設、航空保安施設）は下図のとおりです。



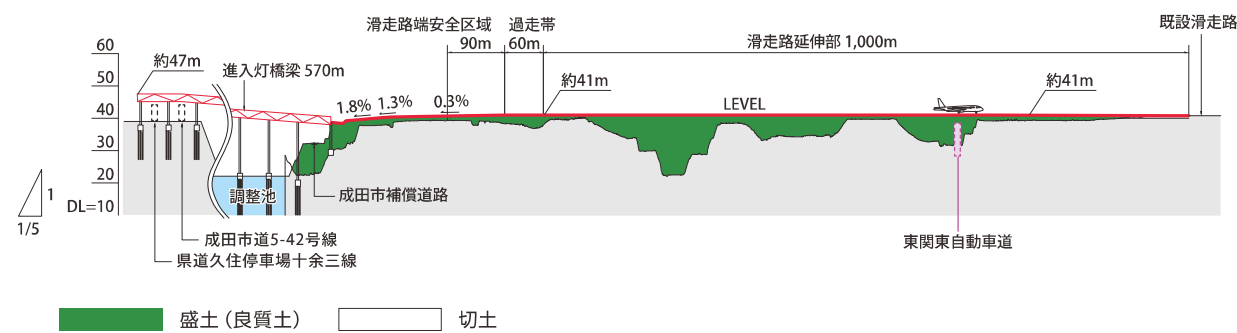
B滑走路延伸地区における 全体工事計画図

B滑走路延伸地区における全体工事計画の概要

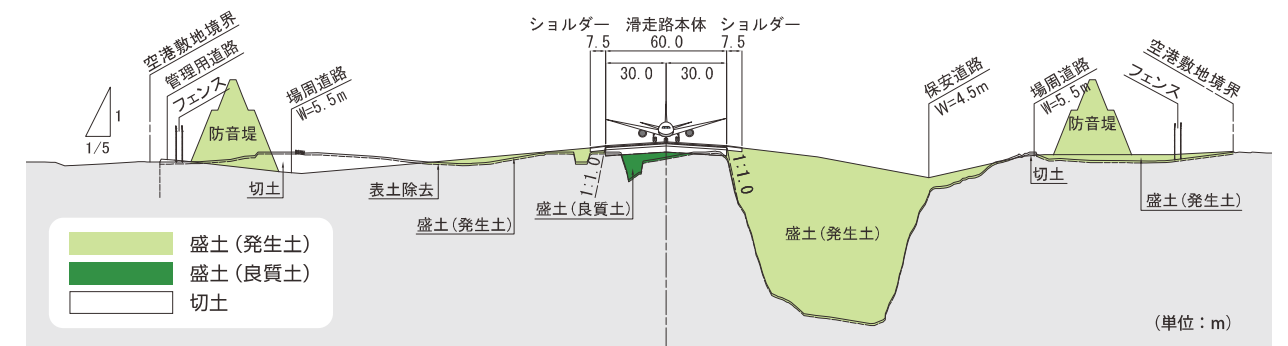
- 滑走路は、現在のB滑走路を北側に1,000m延伸し、延長3,500m、幅員60mの滑走路を整備します。
- 滑走路の縦断勾配は、現滑走路北端部の標高（41m）に合わせてフラットに整備します。
- 滑走路の東西に航空機騒音低減のため防音堤を整備します。
- 新たな進入灯（900m）は、県道、市道、調整池と交差することから一部橋梁形式で整備します。



B滑走路縦断面図



a 造成横断面図



※イラスト及び断面図は概略図であり、実際の構造・寸法とは異なる場合があります。

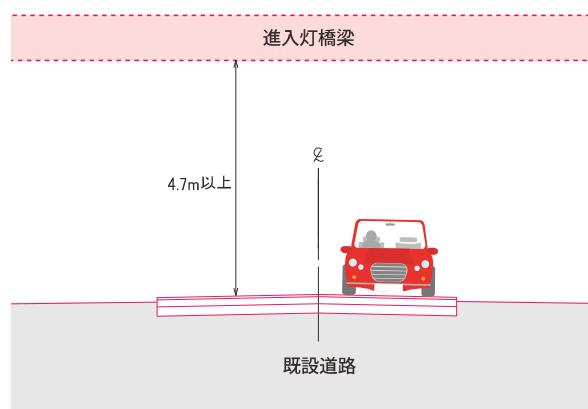
B滑走路延伸地区における 付替・補償道路の工事計画図

B滑走路延伸地区における付替・補償道路の工事計画の概要

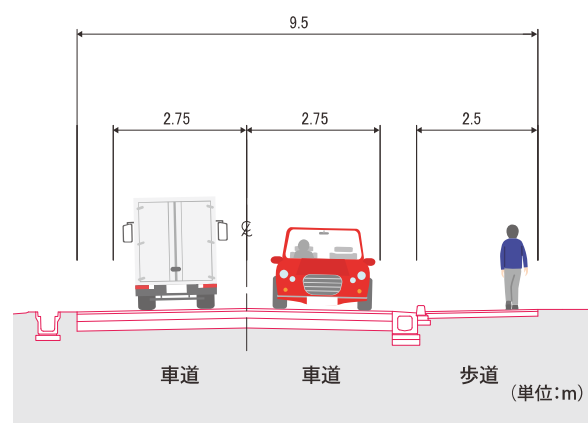
- B滑走路延伸に伴う敷地拡張により、下図のとおり東関東自動車道のトンネル化や成田市道の廃止及び補償道路の整備が必要となります。地域の皆様の交通が分断されないようにB滑走路延伸部に補償道路の整備を進めてまいります。今後も補償道路計画の具体化に向けて、関係者と共に丁寧な検討を進めてまいります。



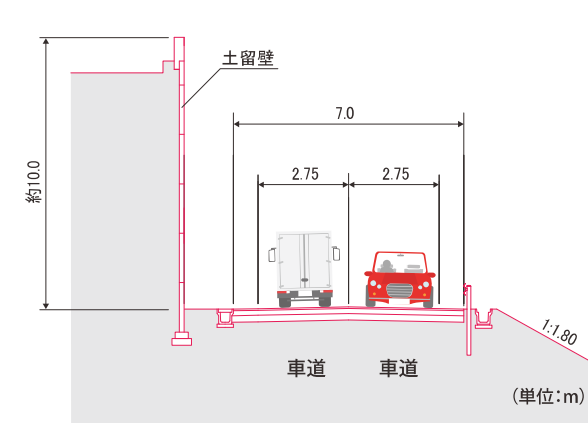
b c 断面図



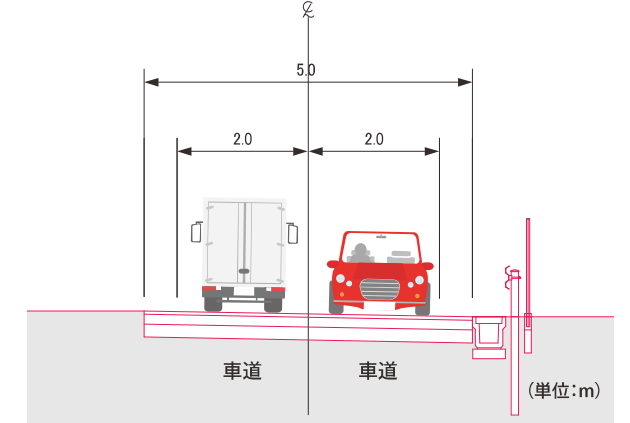
d 断面図



e 断面図



f 断面図



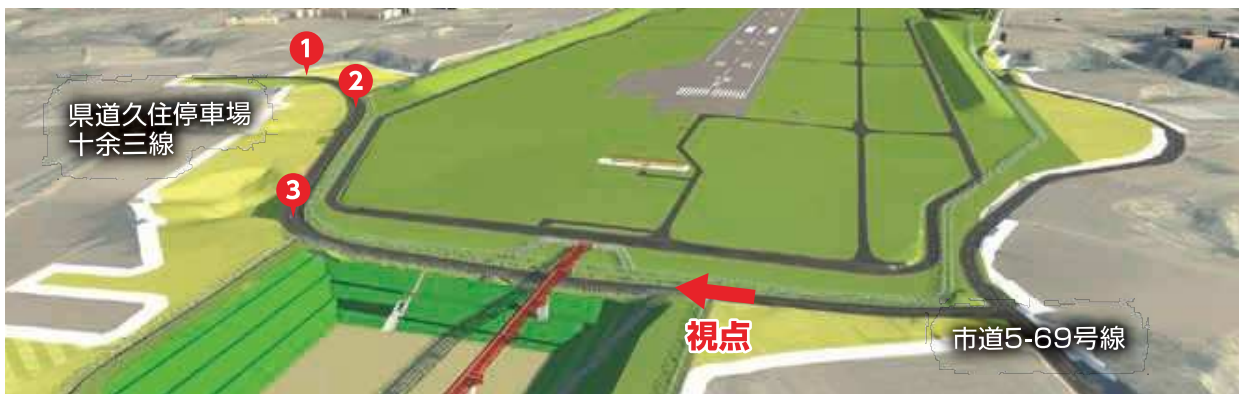
※計画道路等の位置・構造・名称については検討中及び関係機関と協議中のため今後変更となる可能性があります。
 ※道路構造はイメージであり、実際の道路構造・規格を示すものではありません。
 ※道路の整備時期については滑走路整備計画を踏まえて関係者と検討していきます。
 ※イラスト及び断面図は概略図であり、実際の構造・寸法とは異なる場合があります。

B滑走路延伸地区における 成田市補償道路の工事計画図

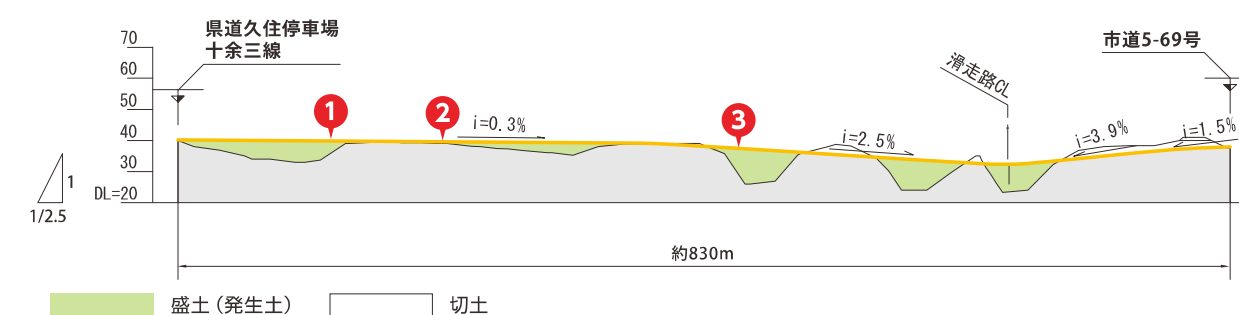


B滑走路延伸地区における 成田市補償道路の工事計画の概要

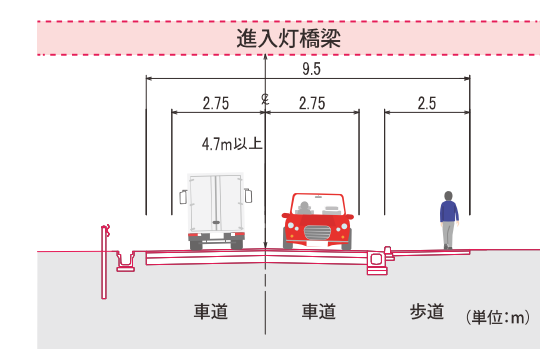
- B滑走路延伸に伴う敷地拡張により成田市道の廃道が必要となるため、地域の皆様の交通が分断されず安全・安心に利用して頂くために集約型の付替・補償道路を整備します。
- 補償道路は極力起伏を少なくした線形とし、最大縦断勾配は約3.9%とします。
- 車道は2車線とし、歩道を設けます。



成田市補償道路縦断図



成田市補償道路断面図



※イラスト及び縦断図、断面図は概略図であり、実際の構造・寸法とは異なる場合があります。

B滑走路延伸地区における東関東自動車道地下道化の工事計画図

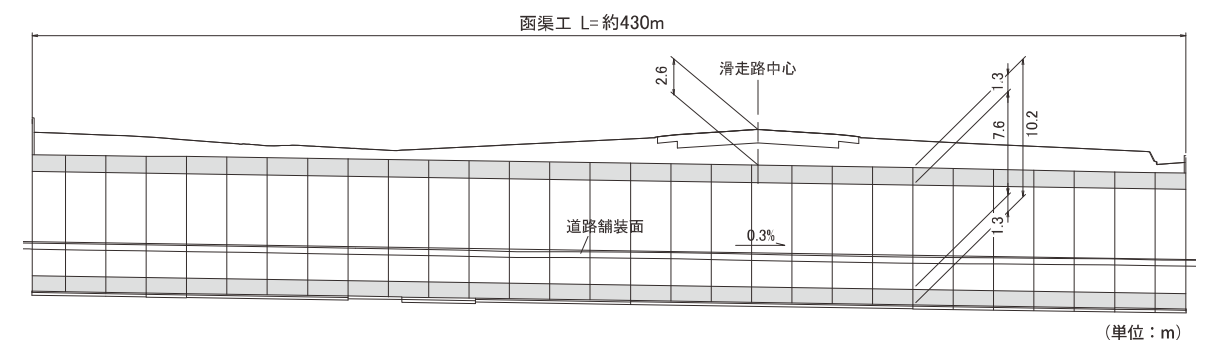
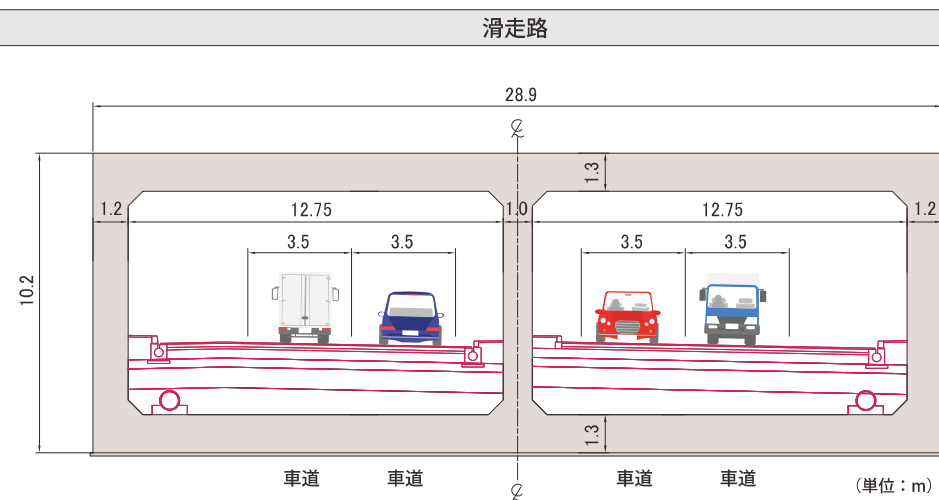
B滑走路延伸地区における東関東自動車道地下道化の工事計画の概要

- 現在の東関東自動車道のうち、延伸したB滑走路と交差する部分については、航空機荷重に対応したボックスカルバート形式のトンネルを整備します。
- トンネルの延長は、430m、トンネルの内空は12.75m×7.6mの2連ボックスカルバートとしており、極力起伏をなくした線形となる地下道を整備していきます。
- 東関東自動車道地下道化工事は現道上での工事となります。このため、切回し道路を整備し、交通を確保したうえで、地下道化工事に着手します。
- 地下道が供用した後は、切回し道路は閉鎖し、滑走路部の盛土・舗装工事を進めていきます。



東関東自動車道地下道断面図

東関東自動車道地下道縦断面図



※イラスト及び断面図は概略図であり、実際の構造・寸法とは異なる場合があります。

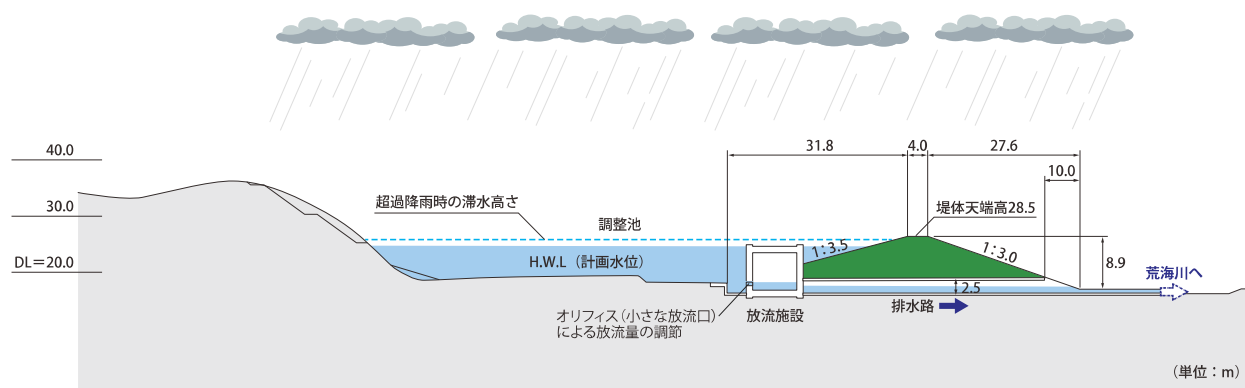
B滑走路延伸地区における 雨水排水等の工事計画図

B滑走路延伸地区における雨水排水等の工事計画の概要

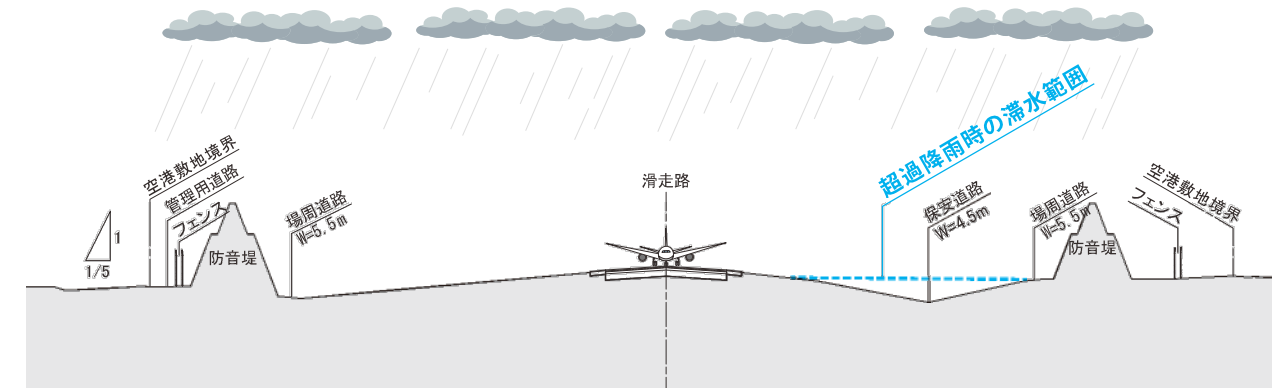
- B滑走路延伸整備に伴う敷地拡大により、周辺の治水安全度が下がらないように空港内に整備する調整池で流量調整したうえで、既設排水路を經由して荒海川等に排水します。
- 調整池は、50年に一度の大雨に対応する約20万㎡の規模で整備します。
- 局所的な豪雨が頻繁に発生していることに配慮し、空港内の造成形状を工夫し、50年に一度の雨を上回る雨（超過降雨）が降った場合には可能な限り空港内で貯留できるようにします。
- 河川等の水質保全として、本格造成工事等においても濁水流出防止対策を実施してまいります。



i 調整池による放流量の抑制



j 空港内滞水状況



※イラスト及び断面図は概略図であり、実際の構造・寸法とは異なる場合があります。

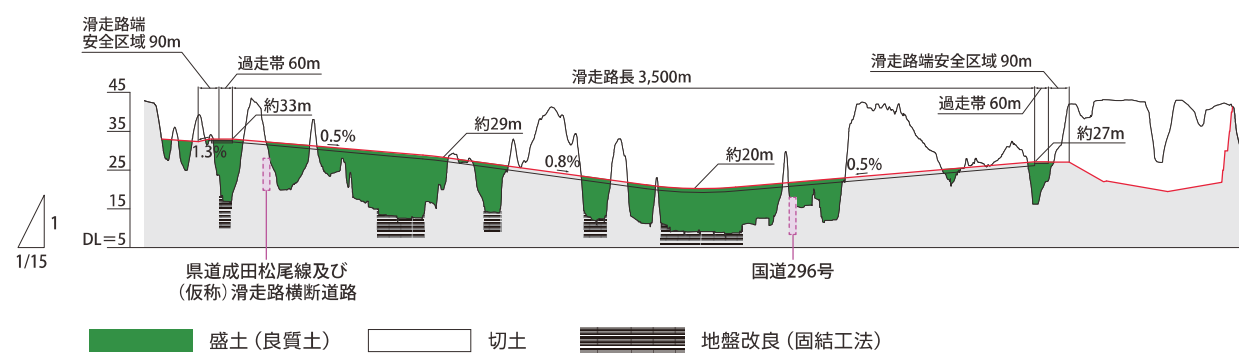
C滑走路新設地区における 全体工事計画図

C滑走路新設地区における全体工事計画の概要

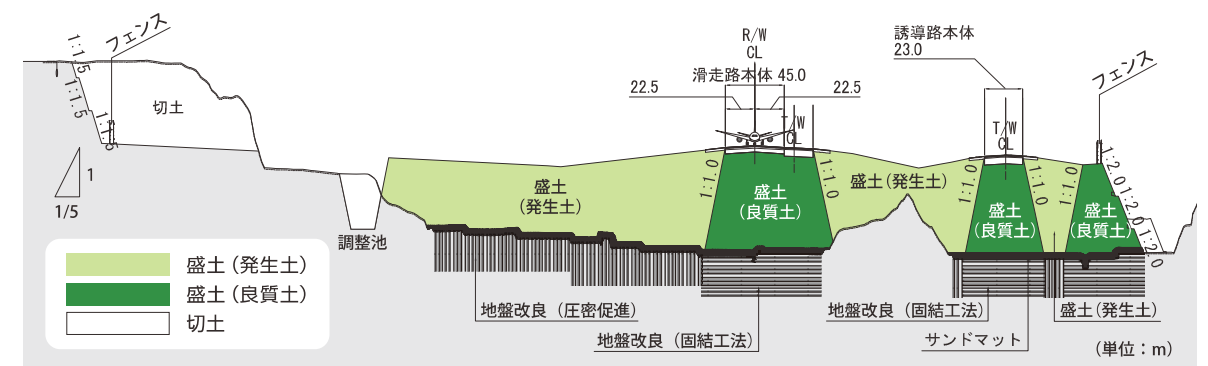
- 延長3,500m（幅員45m）の滑走路、延長約6,200m（幅員23m）の誘導路を整備します。
- 滑走路の縦断勾配は、現況の地形を活かし、標高20～33mで整備します。
- 空港周囲に地域特有の谷津地形を活かした緑化区域を設け、自然環境に配慮した空港整備を行います。
- 空港整備区域内には成田用水や北総中央用水の農業用管路等、多数の公共施設が存在していません。それらについては、関係機関の協力を得ながら付け替え工事等の補償事業を実施します。



C滑走路縦断図



k 造成横断面図



※イラスト及び断面図は概略図であり、実際の構造・寸法とは異なる場合があります。

C滑走路新設地区における 付替・補償道路等の工事計画図

C滑走路新設地区における付替・補償道路等の工事計画の概要

• C滑走路整備に伴う敷地拡張により、多くの多古町道・芝山町道等の廃止及び付替が必要となります。地域の皆様の交通が分断されないように付替・補償道路及び管理用道路の整備を進めてまいります。

東西方向のアクセス機能の付け替え

① 県道成田松尾線及び(仮称)滑走路横断道路 ② 国道296号 ③ C滑走路南側管理用道路

南北方向のアクセス機能の付け替え

④ 圏央道東側多古町補償道路 ⑤ 高谷川付近芝山町補償道路【(仮称)高谷川沿い道路】
⑥ C滑走路外周道路 ⑦ 管理用道路

• 付替・補償道路は既存道路と可能な限り接続を行い、地域の皆様の交通を確保するよう進めてまいります。
• 新規ICについては、千葉県とともに実現に向けて検討しているが、位置も含めて検討中であり、設置は未定。



※①～⑦の道路は一般車両の通行が可能となります。
④'の道路は工事期間中の仮設切り回し道路となり、④の道路の整備後に一般車通行不可となる予定です。
空港敷地内のその他の既存道路は地域の交通機能確保を検討の上、付替・補償道路の整備状況に応じて段階的に廃止してまいります。

※計画道路等の位置・構造・名称は検討中または、関係機関と協議中のため今後変更となる可能性があります。

※空港敷地外に計画されている補償道路は、周辺の開発計画等により位置・構造・名称が今後変更となる可能性があります。

C滑走路新設地区における 付替・補償道路の工事計画図

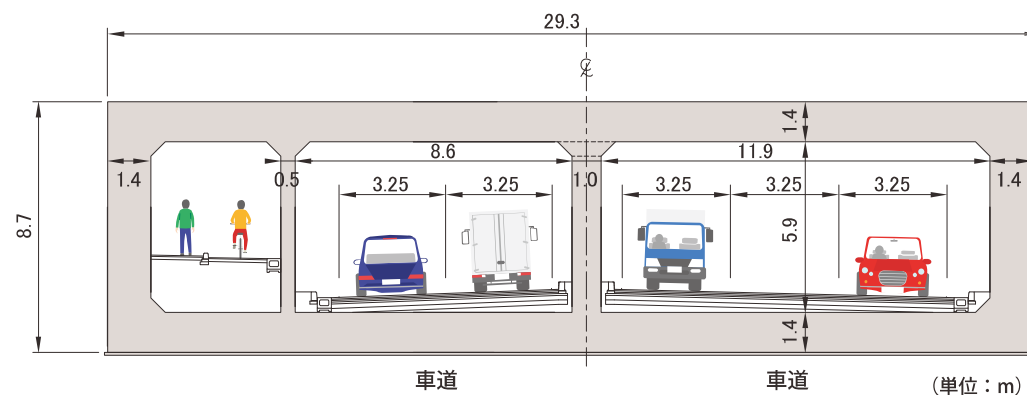
1 県道成田松尾線及び(仮称)滑走路横断道路

- C滑走路の東西方向のアクセス機能の付け替えとして、県道横芝下総線から県道成田松尾線および空港を直接結ぶ機能を併せ持つ道路として整備を進めます。
- C滑走路と交差する部分はトンネルとなり、4車線道路を整備いたします。
- トンネルは、航空機荷重に対応した3連ボックスカルバート構造とし、約530mを予定しております。
- 県道成田松尾線から県道横芝下総線間を滑走路に合わせて整備し、県道成田松尾線から西側(空港側)については「新しい成田空港」構想の構内道路再編に合わせて整備を目指します。

トンネル坑口部(芝山町側)



トンネル代表断面図



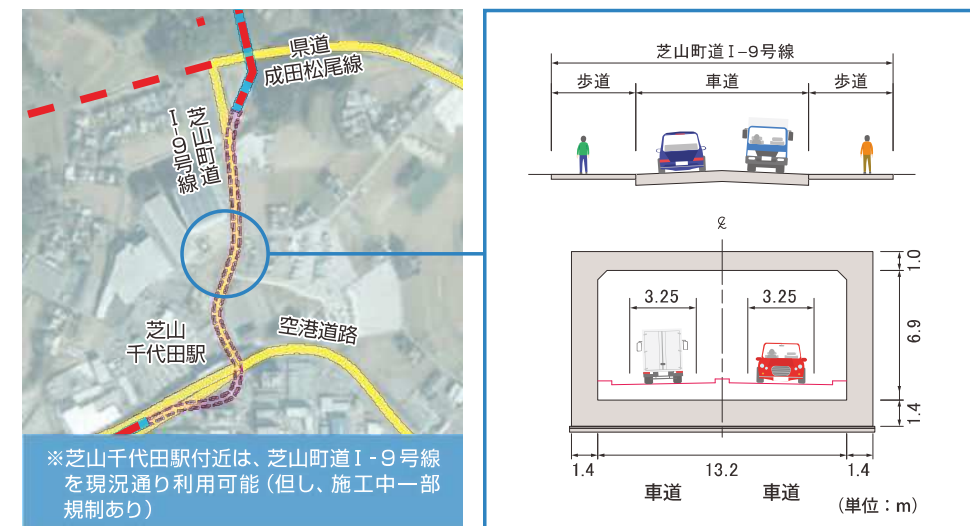
圏央道交差部・県道横芝下総線付近



県道成田松尾線(菱田恋人橋)交差部



空港を結ぶ動線の地下進入口



※芝山千代田駅付近は、芝山町道 I-9号線を現況通り利用可能(但し、施工中一部規制あり)

※イラスト及び断面図は検討中または、関係者との協議中であるため今後変更となる可能性があります。

2 国道296号

- C滑走路の東西方向のアクセス機能の付け替えとして、現在の国道296号の地下道化整備を進めます。
- C滑走路と交差する部分はトンネルとなり、当該道路の拡幅計画への対応が可能となるよう4車線道路と両側歩道に対応可能なものとします。
- トンネルは、航空機荷重に対応した2連ボックスカルバート形式とし、延長約420mを予定し、トンネル内部には北総中央用水管を敷設します。

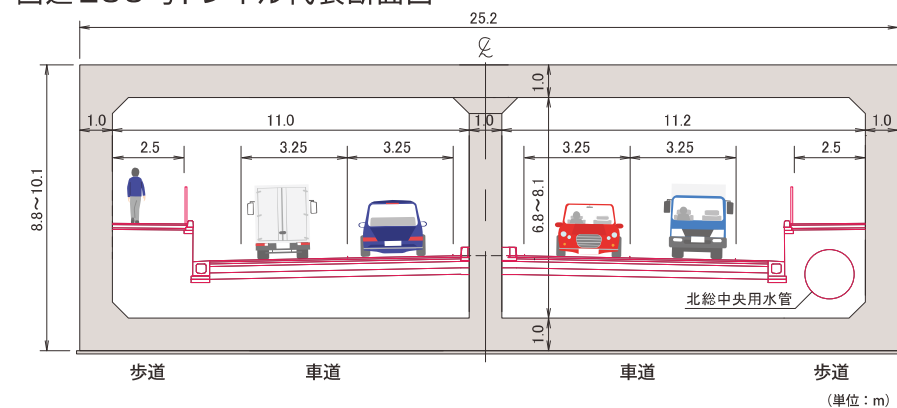
東側



西側



国道296号トンネル代表断面図



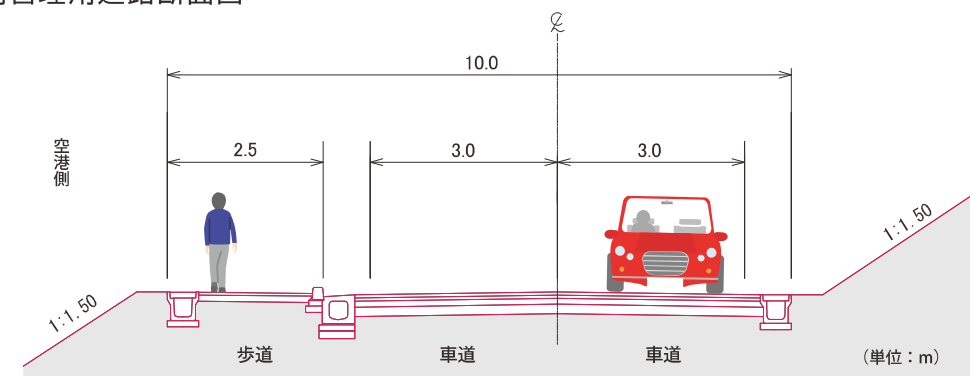
3 C滑走路南側管理用道路

- C滑走路の東西方向のアクセス機能の付け替えとして、多古町道染井・林線の北側付近に2車線道路と歩道の整備を進めます。

既存道路との接続事例



南側管理用道路断面図



※イラスト及び断面図は検討中または、関係者との協議中であるため今後変更となる可能性があります。

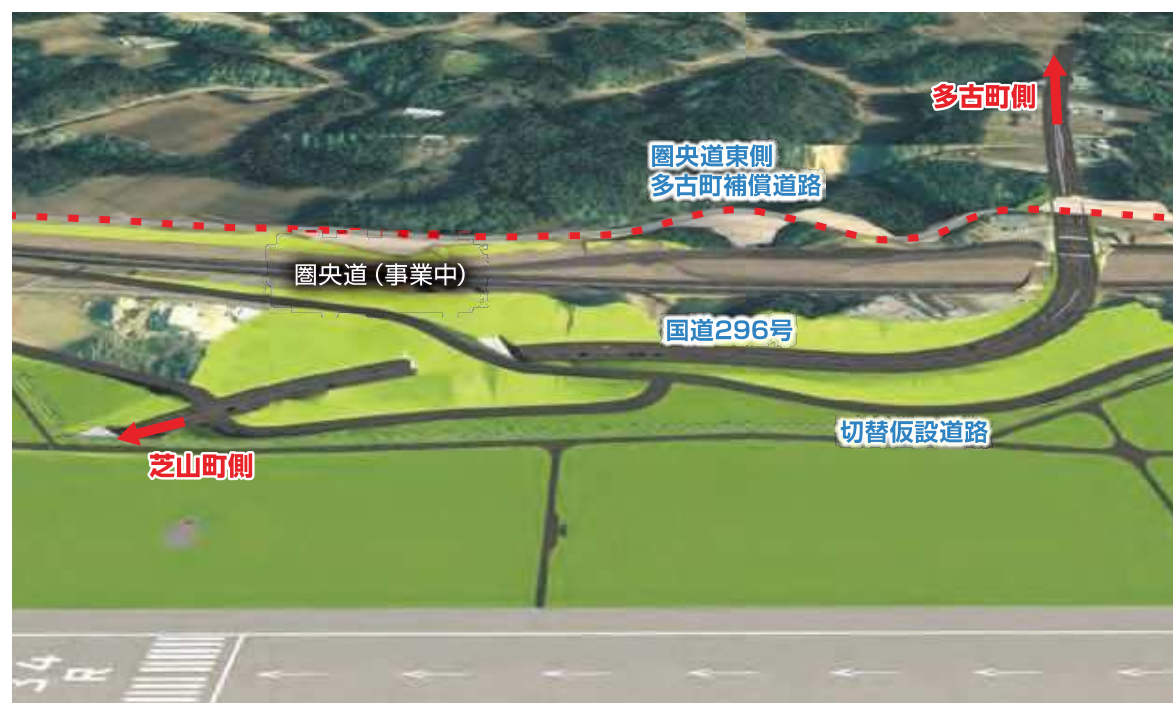
4 圏央道東側多古町補償道路

- C滑走路の南北方向のアクセス機能の付け替えとして、空港拡張により廃止となる多古町道等の補償道路として整備を進めます。
- 本道路は圏央道（事業中）の東側に町道一鍬田・大ヨロ線から町道水戸・千田線の間を結ぶ計画としており、2車線道路と歩道を整備します。
- 交差する既存道路とは可能な限り接続し、地域の皆様の交通を確保するよう進めてまいります。
- 道路計画と干渉する開発計画等との整合にも配慮したうえで、関係者の皆様との協議等を進め、滑走路整備に遅れることなく整備してまいります。

既存道路との接続事例（国道296号付近）



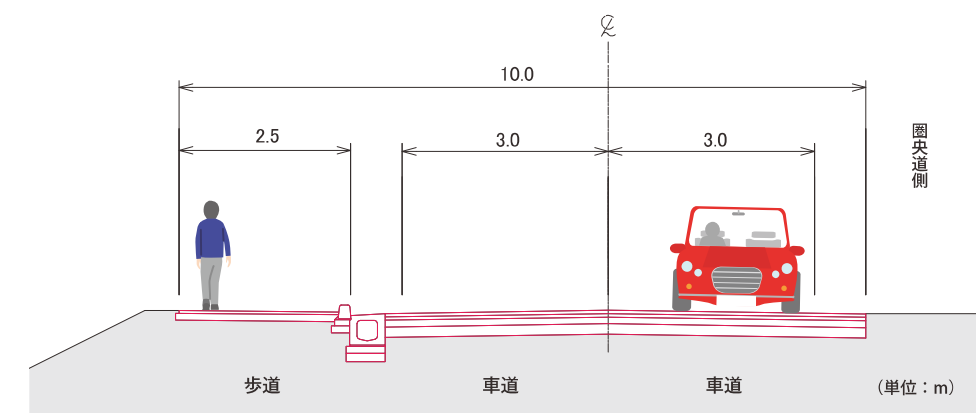
既存道路との接続事例（国道296号付近）



既存道路との接続事例（染井・林線、水戸・千田線付近）



道路断面図



※空港敷地外に計画されている補償道路は周辺の開発計画等により位置・構造・名称が今後変更となる場合があります。
 ※イラスト及び断面図は検討中または、関係者との協議中であるため今後変更となる可能性があります。

5 高谷川付近芝山町補償道路【(仮称)高谷川沿い道路】

- C滑走路の南北方向のアクセス機能の付け替えとして、空港拡張により廃止となる芝山町道等の補償道路として整備を進めます。
- 本道路は高谷川に並走させ、国道296号と県道八日市場佐倉線の交差部から芝山町道I-8号線までの間を結ぶ計画としており、2車線道路と歩道を整備します。
- 交差する既存道路とは可能な限り接続し、地域の皆様の交通を確保するよう進めてまいります。また、豪雨の際にも通行が可能な高さで整備いたします。
- 関係者の皆様との協議等を進め、滑走路整備に遅れることなく整備を進めます。

既存道路との接続事例（国道296号付近）



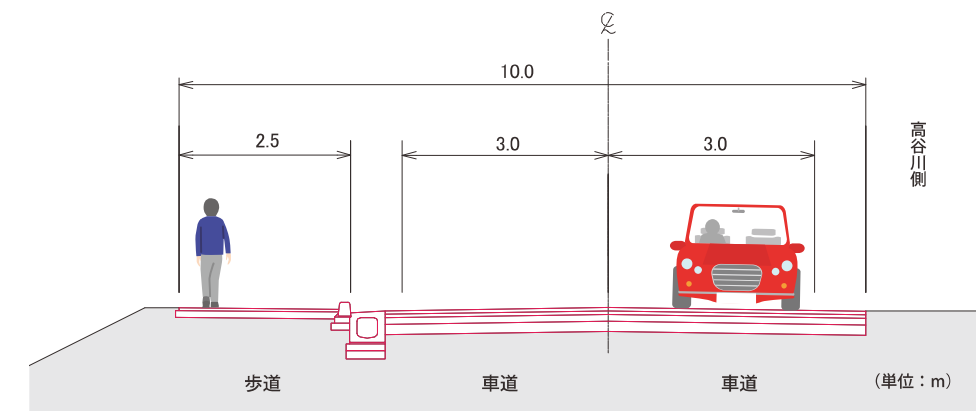
既存道路との接続事例（芝山町道I-8号線付近）



既存道路との接続事例（芝山町道I-4号線、I-85号線付近）



道路断面図



※空港敷地外に計画されている補償道路は周辺の開発計画等により位置・構造・名称が今後変更となる場合があります。
 ※イラスト及び断面図は検討中または、関係者との協議中であるため今後変更となる可能性があります。

6 C滑走路外周道路

- C滑走路の南北方向のアクセス機能の付け替えとして、空港西側の空港敷地に沿う道路の整備を進めます。
- 本道路は2車線道路と歩道とし、諸施設展開区域と重複する範囲(P.13)については、『新しい成田空港』構想の具体化に合わせ、既存道路の交通を確保しながら整備を目指します。

芝山町道 I-2 号線接続部



既存道路との接続事例（芝山町道 I-1 号線、I-2 号線付近）



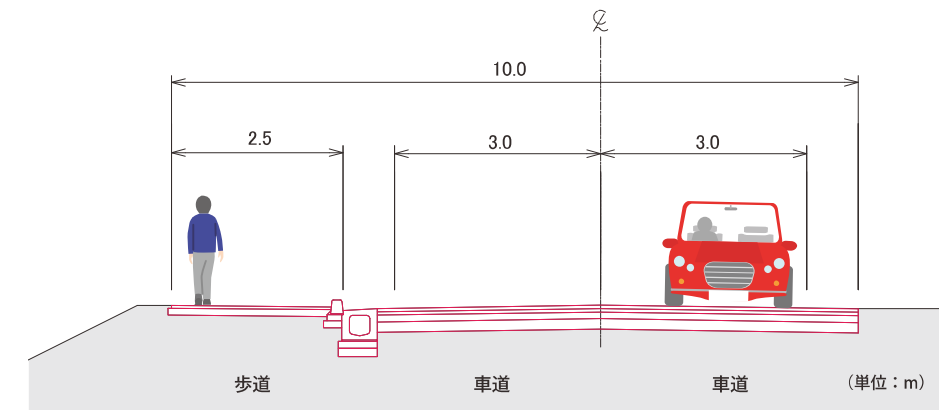
既存道路との接続事例（芝山千代田駅付近）



7 管理用道路

- C滑走路の南北方向のアクセス機能の付け替えとして県道横芝下総線と多古町道一銚田線を結ぶ道路の整備を進めます。
- 本道路は2車線道路と歩道とし、『新しい成田空港』構想の具体化に合わせ、既存道路の交通を確保しながら整備を目指します。

⑥～⑦道路断面図

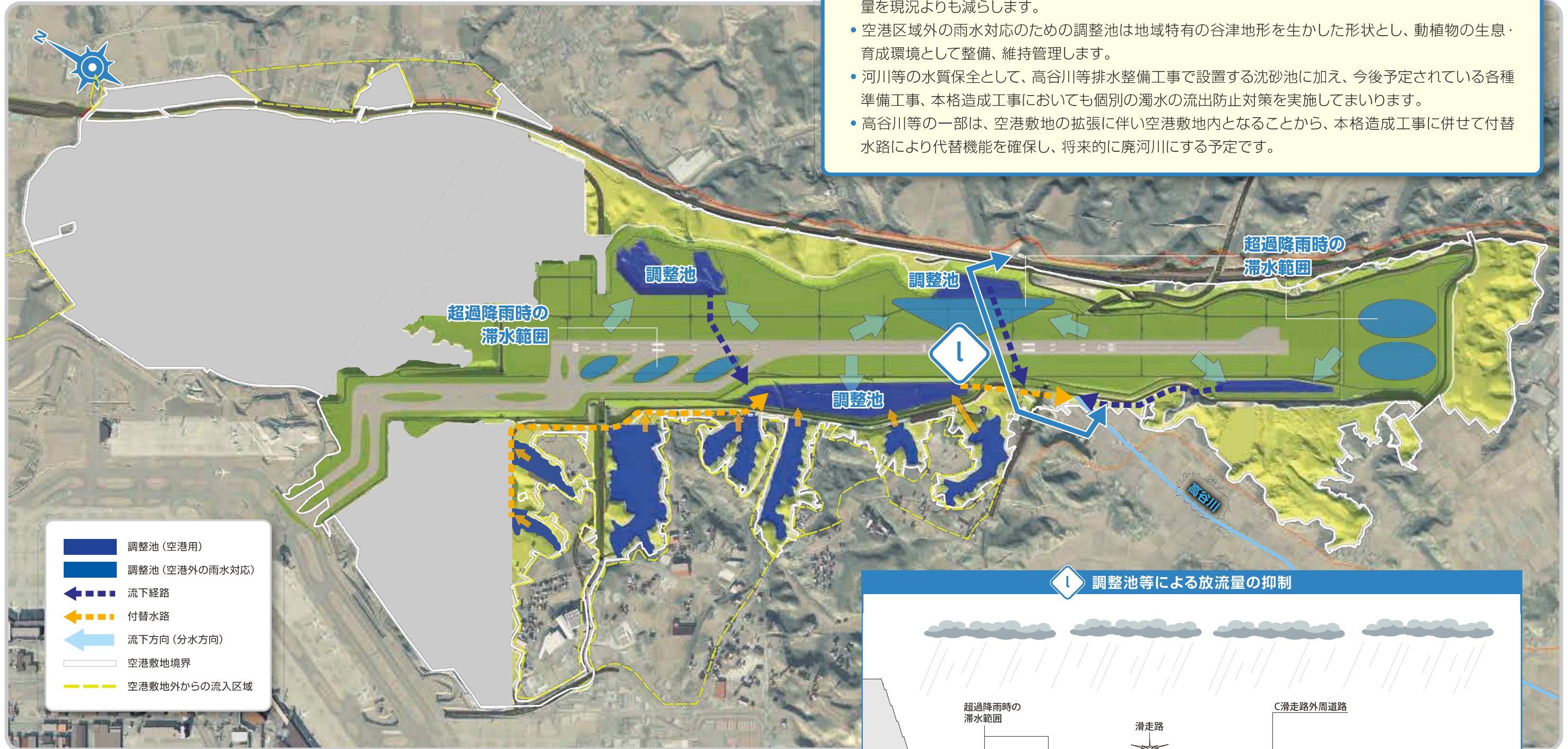


※イラスト及び断面図は検討中または、関係者との協議中であるため今後変更となる可能性があります。

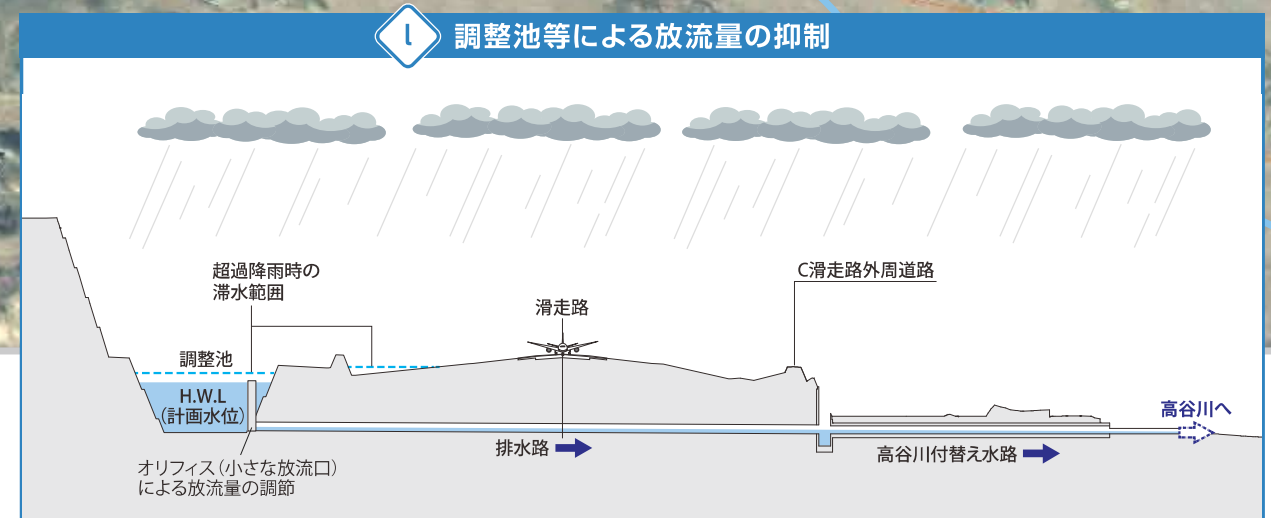
C滑走路新設地区における 雨水排水等の工事計画図

C滑走路新設地区における雨水排水等の工事計画の概要

- C滑走路整備に伴う敷地拡大により、周辺の治水安全度が下がらないよう、C滑走路地区とその周辺の雨水は原則として空港内に整備する調整池等で流量調整したうえで高谷川等へ放流致します。
- 調整池は50年に一度の大雨に対応するため、合計で約130万㎡以上の大規模なものを整備します。
- 局所的な豪雨が頻繁に発生していることに配慮し、空港内の造成形状を工夫し、50年に一度の雨を上回る雨（超過降雨）が降った場合には可能な限り空港内で貯留し、洪水時に高谷川へ流れ込む水の量を現況よりも減らします。
- 空港区域外の雨水対応のための調整池は地域特有の谷津地形を生かした形状とし、動植物の生息・育成環境として整備、維持管理します。
- 河川等の水質保全として、高谷川等排水整備工事で設置する沈砂池に加え、今後予定されている各種準備工事、本格造成工事においても個別の濁水の流出防止対策を実施してまいります。
- 高谷川等の一部は、空港敷地の拡張に伴い空港敷地内となることから、本格造成工事に併せて付替水路により代替機能を確保し、将来的に廃河川にする予定です。

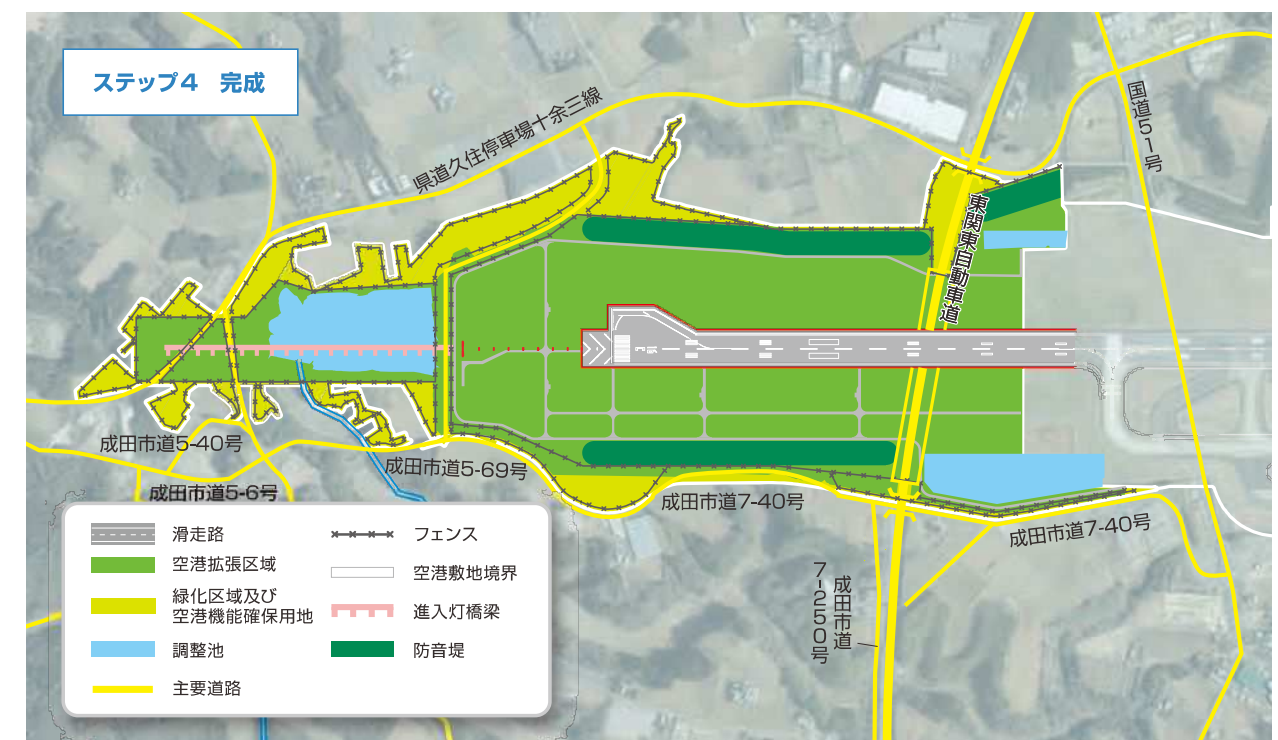
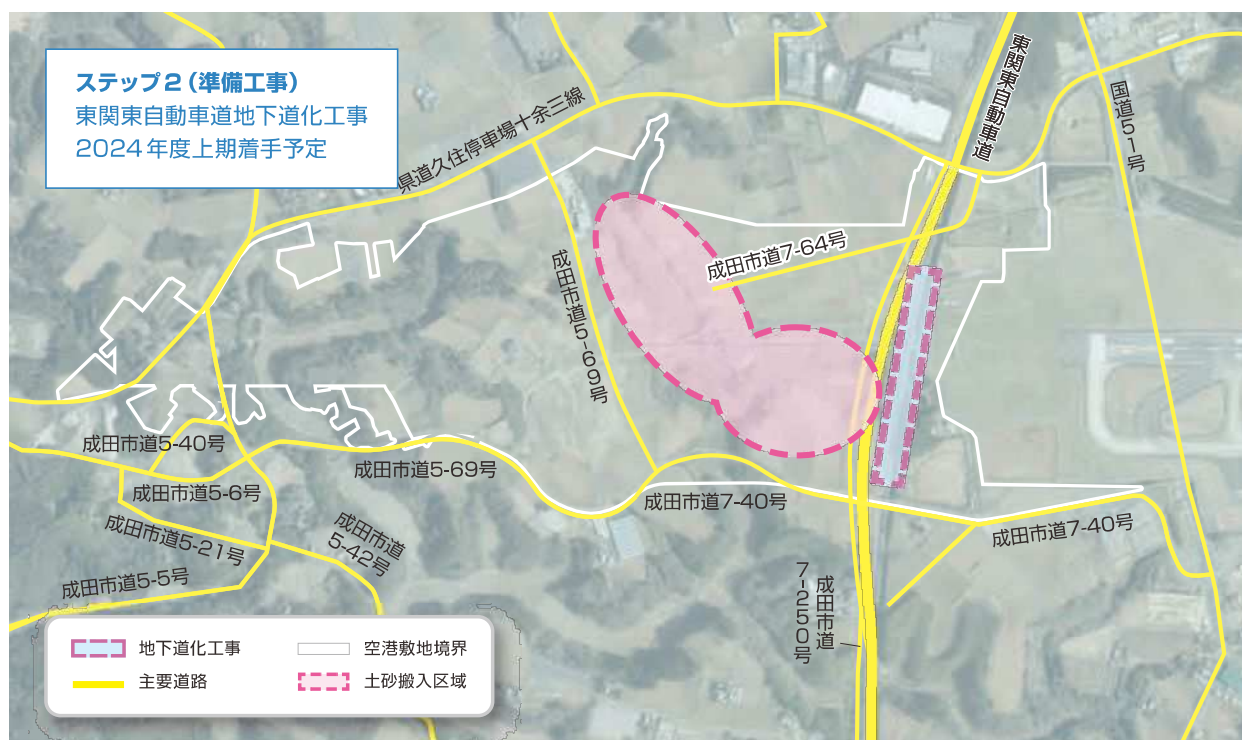
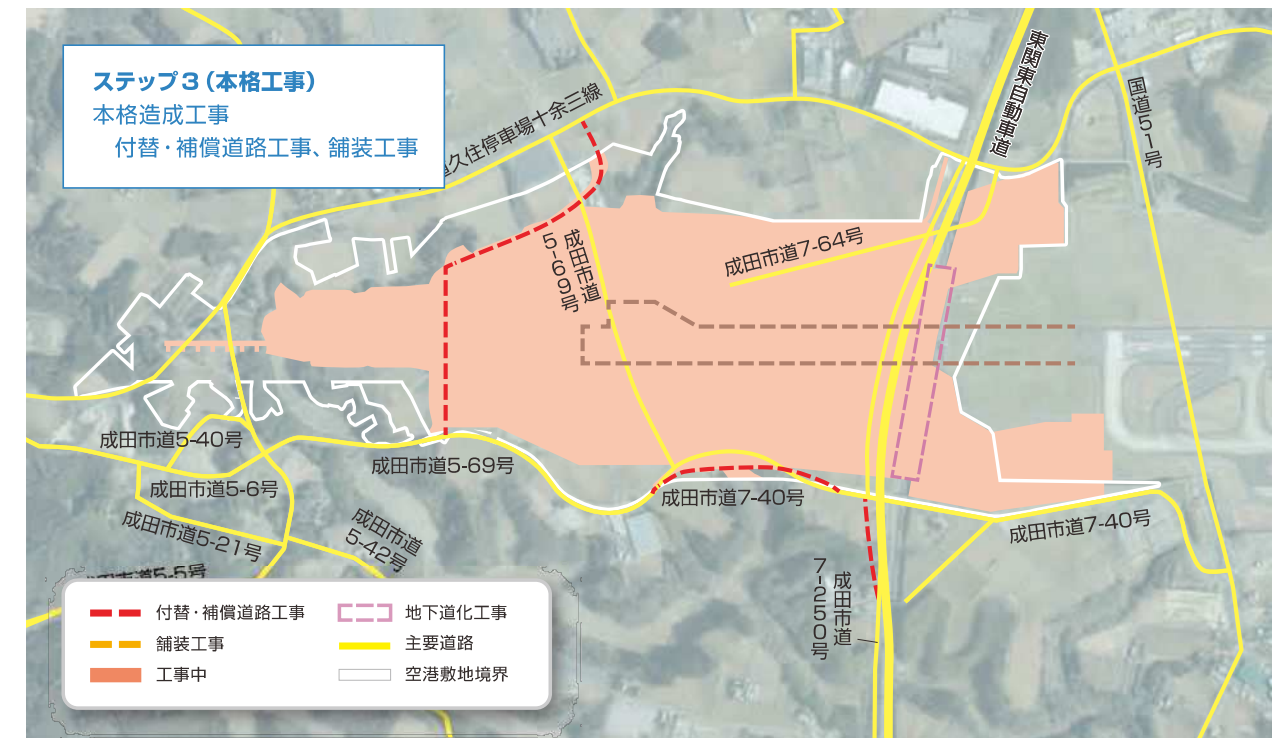


調整池(空港用)
 調整池(空港外の雨水対応)
 流下経路
 付替水路
 流下方向(分水方向)
 空港敷地境界
 空港敷地外からの流入区域



※イラスト及び断面図は概略図であり、実際の構造・寸法とは異なる場合があります。

今後の工事の進め方 (B滑走路延伸整備)



※今後の工事の進め方は、関係者の皆様と協議等を踏まえ変更する場合がございます。

今後の工事の進め方 (C滑走路新設整備)



※各工事に必要となる仮設の工事用道路等は別途整備してまいります。
※今後の工事の進め方は、関係者の皆様と協議等を踏まえ変更する場合がございます。

環境保全計画

大気質の保全、騒音・振動の発生抑制

工事による大気汚染物質の排出、騒音・振動の発生を抑制し、周辺地域の生活環境への影響の低減を図ります。

粉じん等飛散防止

散水や車両のタイヤ洗浄により、砂ぼこり（粉じん等）の飛散を防止します。



散水状況

建設機械等の排出ガス対策

排出ガス対策型建設機械等の使用を徹底します。低炭素化工法を採用します（ICT（情報通信技術）の活用による省人化・高度化・効率化、重機台数の低減等）



排出ガス対策型建設機械のラベル例

工事用車両の走行ルートへの配慮

工事用車両は幹線道路にできる限り集中させ、生活道路への進入を回避するなどの配慮を行います。



工事用車両の走行状況

工事中の大気質モニタリング調査

工事区域周辺大気質の状況について、定期的にモニタリング調査を行います。高濃度発生時には、必要に応じて、工事作業中断・作業調整を行います。



大気質調査状況

水質・水文環境への配慮

空港周辺の河川等の水質の保全を図ります。

また、空港整備に伴う地形改変等による水の流れに関する影響についてモニタリング調査を実施して確認します。

濁水の流出防止

工事区域からの雨水排水は、水の濁りを極力減らしたうえで放流します。



沈砂池

工事中の水文環境モニタリング調査

空港周辺の水文環境の状況について、定期的にモニタリング調査を行います。



河川流量調査状況

景観や自然環境への配慮

造成面の早期緑化や緑地帯の整備により、景観や自然環境への影響の低減を図ります。

造成面の早期緑化

伐採木をチップ化し緑化資材として吹き付けるなど、造成面の早期緑化を行います。



法面緑化（イメージ）

緑地帯の整備

滑走路周辺は芝による緑化を行い、緑地帯として整備します。



滑走路周辺の緑化

自然環境に配慮した空港施設整備

自然環境の改変を可能な限り小さくするとともに、貴重な動植物は工事の前に移植・移設します。また、周辺に残存する谷津環境の再生に取り組み、再生地を貴重な動植物の移植・移設先として活用します。

既存の自然環境を活かした施設整備（調整池等）

空港外の雨水対応のための調整池は、地域特有の谷津地形を活かした形状とし、可能な限り改変を減らして整備します。調整池内に残存する谷津環境は、動植物の生息・生育環境として整備、維持管理を行います。



谷津地形（イメージ）

貴重な動植物の移植・移設

貴重な動植物は、対象種の生態に配慮しつつ適切な時季に移植・移設を行います。



キンラン

アカハライモリ

空港周辺の谷津環境の再生

空港区域外に既に確保している谷津環境（グリーンポートエコ・アグリパーク、芝山水辺の里、騒音用地）の整備、維持管理を行います。管理不足の樹林や荒れた放棄水田に手を加え、谷津環境の動植物の生息・生育環境を再生します。



グリーンポート エコ・アグリパーク

B滑走路地区、C滑走路地区の 工事数量

B 滑走路延伸部造成工事

用地造成工事

- 切土：約59万㎡
- 盛土：約197万㎡
- 土砂運搬：約11.5km、約162万㎡

進入灯橋梁設置工事

- 延長：約570m
(トラス桁380m、鋸桁190m)

舗装工事

- 滑走路アスファルト舗装：約29,500㎡
- 過走帯・ショルダーアスファルト舗装：約10,900㎡
- 場周・保安道路アスファルト舗装：約28,500㎡
- 土砂運搬用工事用仮設道路(空港内)：約25,000㎡

場周柵工事

- 延長：約5.5km

付替・補償道路工事

- 延長：約1.3km

※本工事以外に、空港舗装工事として、約600m分の滑走路・既存空港内の誘導路舗装工事を予定。

東関東自動車道地下道化工事

箱型函渠工事

- 場所打ちコンクリート箱型函渠(1層2径間)：約370m
- プレキャストコンクリート箱型函渠(1層2径間)：約60m

箱型函渠工事

- 切土：8万㎡
- 盛土：8万㎡
- 地盤改良(中層混合処理工法)：約7,360㎡
- 地盤改良(高圧噴射攪拌工法)：約1,700㎡

C 滑走路北側トンネル工事

用地造成工事

- 切土：約29万㎡
- 盛土：約11万㎡
- 地盤改良：約2.3ha

函渠設置工事

- 場所打ちコンクリート箱型函渠(1層3径間)
- 函渠延長：約530m

C 滑走路南側管理用道路工事

用地造成工事

- 切土：約62万㎡
- 盛土：約8万㎡
- 地盤改良：約6.4ha

舗装工事

- 道路延長：1.9km
- 道路アスファルト舗装：約13,000㎡
- 歩道アスファルト舗装：約3,000㎡

C 滑走路地区造成工事

用地造成工事

- 切土：約1,940万㎡
- 盛土：約1,620万㎡
- 地盤改良(圧密促進)：約28ha
- 地盤改良(固結工法)：約26ha

場周柵工事

- 延長：約12.5km

場周・保安道路工事

- アスファルト舗装：90,000㎡

場周道路トンネル工事

- 場所打ちコンクリート箱型函渠(1層2径間)
- 函渠延長：200m

296号付替え道路箱型函渠工事

- 場所打ちコンクリート箱型函渠(1層2径間)
- 函渠延長：420m

高谷川付替え工事

- 暗渠BOX(B5.0m×H4.3m×2連)：約240m
- 暗渠BOX(B3.3m×H1.9m×3連)：約230m
- L型水路(B2.7m×H1.8m)：約540m

舗装工事(別途工事)

- 滑走路アスファルト舗装：約160,000㎡
- 滑走路コンクリート舗装：約6,700㎡
- 誘導路アスファルト舗装：約159,300㎡
- 誘導路コンクリート舗装：約48,800㎡
- 過走帯・ショルダーアスファルト舗装：約210,600㎡

※工事数量は概算であり、実際の規格・数量とは異なる場合があります。

